

株式会社藤原造船所



旅客フェリー建造に特化した設計・生産体制で
しまなみ海道・大三島から日本の海上交通を支える

想定分野 船舶 ▶ 洋上支援船建造・船舶修繕



1,500総t級までの造船能力を有する

旅客フェリーおよび旅客船の建造を主力とする藤原造船所。1,000t前後の旅客フェリーを中心に、1,500総tまでの造船を可能としている。船台は幅に余裕を持たせた設計となっており、車両搭載や客室配置が求められる旅客フェリーの建造に適した生産環境を整備。瀬戸内海を中心に、関東、九州、沖縄まで全国各地で建造実績を重ねてきた。鉄道建設・運輸施設整備支援機構からも高い評価を受けており、共有船(旅客フェリーな

ど)の建造実績も多数。2025年12月時点での累計建造実績は、旅客船52隻、旅客フェリー47隻、鉄道建設・運輸施設整備支援機構等の共有船22隻。環境・省エネ性能を重視した船舶や、航行海域・船主ニーズに応じた仕様設計、バリアフリーにも柔軟に対応している。建造船台・修繕船台、ブロック加工場、係船岸壁を備え、建造段階での要望にも臨機応変に対応できる点が強みである。

採用実績・施工例

水戸岡鋭治氏デザインの旅客船を建造



「ななつ星in九州」などで知られる水戸岡鋭治氏がデザインを手がけた旅客船の建造実績を有する。「おりんぴあどりーむせと」など、意匠性の高い内装デザインにも対応し、内装仕上げまでを船台内でほぼ完結できる体制を整えている。

内製化により生産効率と品質管理を強化



ブロック工場の拡張により内作率が大幅に向上。300t級の小型旅客船では内作率100%を実現し、外注コストを抑えた造船が可能となった。自社の技術者が中心となって建造することにより、品質の安定と工程管理の高度化を両立した建造体制を構築している。

主要設備機械

- 修繕船台：最大長さ50m×最大幅9m、最大総トン数500G/T
- 船台：80m×20m、最大総トン数1500G/T
- 30t高脚型走行式ジブクレーン30t×35m1基
- 20t高脚型走行式ジブクレーン20t×35m1基
- 10t塔ジブクレーン10t×35m1基
- 5Tタワー型ジブクレーン5T×35m1基

会社情報

事業内容／船舶の建造並びに修繕
所在地／〒794-1308 愛媛県今治市大三島町浦戸1538
設立／1971年3月 資本金／1,000万円 従業員／33名
代表者／代表取締役社長 藤原 史宣 TEL／0897-83-0111
事務所／今治市
首都圏担当／代表取締役社長 藤原 史宣 TEL／0897-83-0111
E-mail／info@fujiiwarazousen.jp
URL／https://www.fujiiwarazousen.jp/